愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	リーダーシップ入門		
担当者(Instructors)	舩木 恵一	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択
			実務家教員科目(Pro teacher course)

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

この授業は、人間の資質や能力向上という観点だけでなく、企業経営や組織行動論的な視点から、成功する組織や優れたリーダーが生まれやすい組織など、環境や組織と人の関係を考察してゆきます。さらに地球環境問題や生成AIなど、グローバルな問題や特定領域におけるリーダーシップといった場合、それは人のみをさすのではなく、企業や国家、あるいは思考や技術を意味します。このように、目には直接見えなくとも、そこにあれば感じることのできるリーダーシップとは何か。人の能力、組織、潮流など複数の視点からリーダーシップを考察し、社会で役立つ幅の広い教養を身に付けます。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	対面方式で講義を行います。テーマ（問い）を設定し、テーマに沿って講師がスライドや動画等で解説します。学生は復習や予習の課題を行うことで、内容の理解・消化を図れるだけでなく、自己の考えを明確にし、それを表現する力も伸ばすことができます。また、数回に一度、アクティブラーニング方式で、学生同士のディスカッションやリサーチ、プレゼンテーションを行います。学生同士のコミュニケーションや意見交換も行います。
当該科目と実務との関係(Relationship between cource and practice)	日本企業の海外現地法人の代表、また外資系企業の日本法人の経営者として、通算24年間計6社の経営に携わり、様々なリーダーシップ経験と組織運営の実績をもとに、グローバルな環境におけるリーダーシップ、特に日本人と外国人の意識の違いなど、異文化理解のうえにたった組織運営について説明します。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	イントロダクション	講師の紹介、講義の内容や取り組み方、成績評価の方法など、本科目の履修に必要な準備や行動について解説します	□
第2回	リーダーシップってなんだろう？　歴史上の人物を選択して、研究対象を決めよう	グループに分かれてディスカッション行い、リーダーシップ研究の対象とすべき歴史上の人物を選び、調べる内容やポイントを整理しましょう	□
第3回	リーダーとはどういう役割りを期待されるのか？　マネージャーと何が違うのか？	リーダーとマネジャーの役割や機能の違いとは？　現代の企業において管理職の役割や、いつ・どのような局面でリーダーシップが求められるのかを考えます	□
第4回	PM理論とは何か？　何故リーダーシップ研究が進んだのか？	PM理論、特性理論、行動理論など、20世紀に発達したリーダーシップに関する理論を学びます。なぜ重要なテーマとなったのか。当時の論点と時代背景を含めて考察します	□
第5回	身近に感じるリーダーシップ（いつ、どんな時にリーダーシップを感じたか？）	周囲にある身近なリーダーシップについて考え発表します。グループに分かれて、学生同士で自己の体験を語り、それをもとにディスカッションを行い、何が論点になったのかを発表します	□
第6回	フォロワーシップとは？　チームワークとは？　権限のないリーダーシップとは？	外資系企業と日本企業の違いとして、よく取り上げられる同調圧力や個人主義について、リーダーとメンバーの関係から考えます	□
第7回	アメーバ組織やティール組織とは何か？	私達の社会には様々な組織形態があります。その特徴を整理し、それぞれの組織におけるリーダーに求められるものとは何かを考えます	□
第8回	学生発表①	第2回で設定した歴史上の人物におけるリーダーシップ研究について、研究成果を発表します	□
第9回	サーバント・リーダーシップ、モチベーション3.0とは？	新しいリーダー像とされるサーバント・リーダーシップや、企業における最新のモチベーション管理の視点について考えます	□
第10回	リーダーに求められるスキルとは？ なぜ異文化理解が重要なのか？	リーダーシップを発揮するために必要なスキル、また外国人または海外で活躍するのに必要なものを考えます	□

第11回	自己点検活動である「ジョハリの窓」「MBTI分析」とはどんなもの？	リーダーシップの発揮に必要な自己認識と、他人からの認識のズレをどう発見し、解消するかについて考えます	□
第12回	学生発表②	第８回で未発表の学生の研究成果を発表します	□
第13回	眼に見えないリーダーシップにはどのようなものがあるのか？	国際的なビジネスシーンで発生しやすいトラブルや誤解について、背景にある文化や言葉の使い方の違い、その理解の重要性を考えます	□
第14回	グローバル社会に求められる政治や経済のリーダーシップとは？	グローバルとインターナショナルの違い、自国中心的な思考、日本人が陥りやすい思考や行動について、理解を深めてゆきます。	□
第15回	あらためてリーダーシップとはなにか？どのようにすれば発揮できるのか？	今後、リーダーシップを発揮するために必要だと考える具体的行動や思考について、グループディスカッションを行います	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

ディスカッションや意見交換した内容について、日常生活で実践し内省する（1時間程度）。課題への取組をおこなう(1時間程度）。検索活動や発表準備などアクティブラーニングの準備を行う（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

提出された課題は、LMSを通じて採点及びフィードバックを行います。公開されたオフィスアワーを利用し、課題に関わりなく研究室でQ&Aを行うことができます。その他の質問はチャット及びメールで受け付けます。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	リーダーシップに関する理論や知識と自らの体験を基に、創造的に考えたうえで、社会問題や、組織や個人における課題について、的確に判断し、自己の考えを表明することができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	リーダーシップとフォロワーシップの学習を通じて、多様な人々の中で自己を理解し、主体的に他者と協働して問題を解決することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内試験は出席点ではありません。毎回授業終了時に課題を科します。提出された内容及びアクティブラーニングの取組をもとに成績を評価します。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	テキストはありません。必要に応じて講師が資料を用意します	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	谷益美、「リーダーのためのファシリテーション・スキル」、すばる舎	
2	スタンフォード・ソーシャルイノベーション・レビュー、「これからの社会の変え方を探しにいこう」、英治出版	
3	山口周、「ニュータイプの時代」、ダイヤモンド社	
4	シバタナオキ＋吉川欣也、「テクノロジーの地政学」、日経BP社	

5	フレデリック・ラルー、「ティール組織」、英治出版	